

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	家庭福祉相談室 ぶりも			公表日	2025年3月12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	他事業所に比べて広いスペースがある。それぞれのプログラム毎にスペースを広く使えるように工夫している。身体を動かす空間と静かに遊ぶ空間を分けることができる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	カウンセラーを配置するなど、保護者サポートにも対応するスタッフも確保している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	スケジュールや手順表の表示を子どもの特性に合わせた教示を工夫している。療育前に遊具の点検や対象児に合わせた設定となっているかを複数人で確認している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	グループ終了後に毎回、清掃・消毒を徹底している。定期的に換気を行い感染対策を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	ホール、プレイルーム、水飲み場などドアを閉めて空間を区切る事ができ、用途に合わせて使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	88%	0%	回答なし：12% 目標設定、振り返りを複数スタッフで実施している。全員出席の会議で話し合いを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	評価表以外にも年2回確認票を記入してもらい保護者の意向を聞き取るようにしている。内容については、全スタッフで共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月の会議に加え、業務について改善点がある時にはLINEを活用し伝え合い、実行をしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	25%	回答なし：25% 理事会など法人からの助言や指導を受ける体制ができています。	第三者による外部評価について把握できていないスタッフもいるため、改めて周知を行っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月の会議前に研修資料を配布したり、外部研修への参加を奨励している。研修情報をスタッフで共有している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	88%	12%	年度初めにプログラムの構成、目的を伝えたり、その日の活動目的をカウンセラーから保護者に伝えている。	支援プログラムを今後公表していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	発達検査を年2回実施し、アセスメントを行い支援計画の立案に活用している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	担当者や複数スタッフで話し合いながら支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	常に計画を確認できるようにしながら、個別課題などのプログラムで実行している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	遠城寺発達検査、KIDS,太田のステージなどのツールを活用し、日々の記録、話し合いの中で子どもの暦年齢の段階を考え支援を行っている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	ガイドラインに沿った支援計画を立案している。本人支援以外にも保護者グループの実施や園訪問、学校への引き継ぎなどを通して家族支援、地域支援を計画、実施している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	常にグループスタッフと話し合い、必要に応じて他グループスタッフにも相談している。	

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	月単位で子どもの興味状況を見てプログラムを設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	集団活動と個別活動が1日のプログラムに盛り込まれるように支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	その日の活動の目的や流れを支援開始前にスタッフで確認している。ボランティアスタッフも交えて打合せを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援後にはひとりひとりの子どもの様子を話し合い確認している。ボランティアスタッフも含め関わった人全員で振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎回観察記録を記入しファイリング、計画立案時に見直しをしている。記録様式を見直し、様子がわかりやすく、短時間で記録できるように工夫している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6か月以内に見直し、評価を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	88%	12%	グループリーダーや担当者が出席している。	担当者会議に参加経験のないスタッフにも参加の経験ができるように機会を作っていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	保健センターや関係する幼稚園保育園と連携し支援を行っている。外部講師を招き講演会やレクレーションを行い、利用児の関係機関と積極的に連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保育所等訪問を行い、園と情報共有し課題を確認している。保育所等訪問支援事業と並行して行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	引継ぎ資料を作成している。保護者のニーズに合わせて、学校を訪問し、引き継ぎを実施している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	63%	25%	回答なし：12% 必要な時には連絡会議や情報共有することで連携を図っている。	発達支援センターで実施される研修会などへの参加を検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	88%	12%	当法人の保育園との交流保育、合同保育を実施している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	入室時、終了時の保護者と対面しての引継ぎを実施している。また、電話相談、連絡帳、個人懇談、保護者グループで子どもの状況を伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	先輩ママの話を聞く会、就学についての話を聞く会、歯科相談、医師や学校の先生を招き講演会を実施している。家族で参加できるプログラムを実施している(ムーブメント、工作会、人形劇)	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明を行い、変更があった時にはプリントを作成した上で説明を行っている。継続者に対し年度初めにはプリントで知らせている。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者へ確認票を配布、記入してもらい、保護者の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	個人面談を実施し、計画を説明し同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者グループでの話し合いを毎週実施。また、LINEや電話、連絡帳で相談や助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	保護者グループや家族の集い、夏、冬休みプログラムで他グループの人と交流する機会を設けている。毎回の保護者グループに加え、講師を招いての学習会、先輩の話や先輩の話を聞く会などを開催している。保護者同窓会を毎年実施している。	兄弟同士の交流をする機会がないため、今後検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	相談を持ち掛けられた時には即時対応している。対面が難しい時には電話やLINEを活用している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月通信を発行している。今年度からLINEを連絡手段として取り入れた。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	プライバシーポリシーを作成し、遵守している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	口頭での理解が難しい時には、文章や絵カードを用いて必要な情報を伝えている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	ボランティアに参加してもらい、支援を必要とする子どもや保護者について知ってもらうようにしている。クリスマス会にサンタクロース役として、地域の人に参加してもらうようにしている。ボランティアを積極的に受け入れている。子育て支援グループを開催している。	コロナにより中止した、チャリティコンサートの実施も今後検討していく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	防災、感染マニュアルを作成しスタッフで共有している。保護者にも閲覧してもらっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	地震、火災、不審者を想定した避難訓練を定期的に実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	利用前のインテーク面接にて服薬、アレルギー、持病について確認し対応策を確認している。毎年、変更などがないか確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギーの申告があった時には、医師の指示所をもらい対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	遊具点検、散歩コースの下見を毎回実施している。子どもたちへの交通ルールの事前説明、アレルギー対応として全員に食後の手洗いを徹底している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	88%	12%	保護者と一緒に避難訓練を行い、避難対応を確認してもらうようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット事例が生じた際は、スタッフで情報を共有し、再発防止策を確認している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待に関する研修を年1回以上行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	38%	50%	回答なし12% 身体拘束にならないような方法で安全確保、危険回避をしている。万一身体拘束が必要となった場合には説明をおこなっている。	現在は対象となる利用者がいないため、スタッフに周知されていないが、改めて必要な場合を想定して、対応方法を確認していく。	